

# 向学館通信

2010・5・26

**中・高生は、いまからテスト対策です。**

みなさん、高得点を目指して頑張りましょう。早めにテスト範囲の復習をしましょう。自習をもっと活用しましょう。

**★定期テストの結果は、問題と解答をかならず提出してください。**

## 公立高校を受験する場合、中学の「内申点」が重要です！

中学生の多くは、「受験勉強は中3になってからすればいい」と考えているようです。しかし、京都の公立高校の仕組みでは、中1の初めから「受験」が始まっているのです。高校入試のテストの点数が200点満点です。これに対して「内申点」は195点満点で、ほとんど同じウエイトになっています。高校入試の点数はこの両者を合わせて395点満点です。

こういう仕組みですから、入試本番のテストでいい成績が取れても、内申点が低ければ不合格になる可能性があるわけです。

この「内申点」を少しくわしく説明します。

中学1年から3年までの通知簿の5段階評価が点数化されたものが、内申点です。点数化のしかたは次のようになっています。

### 3年間全科目オール5をとった場合

$$\begin{aligned} \text{内申点} &= 5 \times 5 \text{ (英・数・国・理・社)} \times 3 \text{ (3年間)} \\ &\quad + 5 \times 2 \text{ (副教科は評価の2倍)} \times 4 \text{ (技家・美・音・体)} \times 3 \text{ (3年間)} \\ &= 195 \text{ 点} \end{aligned}$$

### 3年間全科目オール3をとった場合

$$\begin{aligned} \text{内申点} &= 3 \times 5 \text{ (英・数・国・理・社)} \times 3 \text{ (3年間)} \\ &\quad + 3 \times 2 \text{ (副教科は評価の2倍)} \times 4 \text{ (技家・美・音・体)} \times 3 \text{ (3年間)} \\ &= 117 \text{ 点} \end{aligned}$$

このように公立高校を受験する時点で、オール5とオール3とでは、78点も差がついてしまっているのです。この差を本番の入試で縮めることは、不可能です。また、この仕組みのもう一つの特徴は、主要5教科よりも副教科(美術・音楽など)の方が点数が高いということです。オール5で比べると、主要5教科の合計点が75に対して副教科の合計点が120です。副教科でがっちり点数を取っておくことがいかに有利かがわかります。

中1の初めから受験が始まっているということが、おわかりになったと思います。定期テストは手抜きせずにいつも好成績を取っておくことが、中3での苦しさをずいぶん和らげることになります。

## 中学生のテスト対策について

当塾では定期テスト対策として、

- ① テスト範囲のプリントまたは過去問を、生徒に配る。
- ② テスト前の2週間は、塾で受講していない科目でもテスト勉強するのはOK。
- ③ 通常受講もテスト前は、テスト対策に切り替える。———などを行っています。

このやり方は、高得点を取るための非常にいい方法だと思います。現に、この塾に来る前は低い得点だった人がかなりの高得点を取るようになったというケースはたくさんありました。

しかし、なかには、テスト直前の勉強もあまり熱心でなく、分からないところがあってもそのままにしていたりする「不熱心な」人がいます。こうした人は、渡した過去問もかなりやり残したまま、テストをうけています。こんなことがなくなるようにと切に願っています。

**過去問は、昨年までの生徒たちが問題と答案を持ってきてくれたから渡せるのです！最近、テストの結果をいくらいっても持ってこない人がいます。**

テスト結果をもってこない人は、成績が良くないので見せたくない、あるいは、結果を見て何か言われるのではないかなど、心配しているのかもしれませんが。しかしこれは、逆で、どういところが分かっているのかを知ることで塾として補強しやすくなるのです。また、各学校の出題傾向を知り、次回への対策に役立っています。これは、生徒各人のためでもあります。